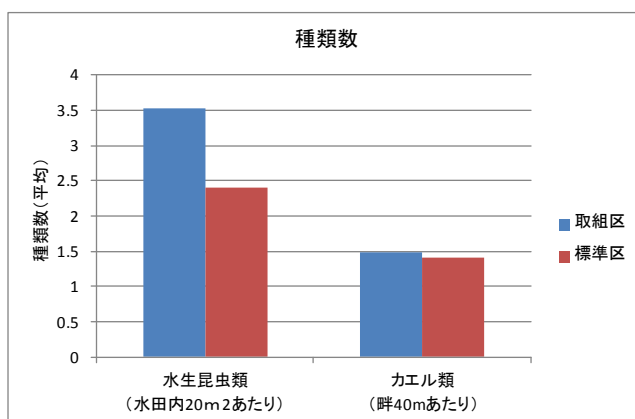


# 冬期湛水

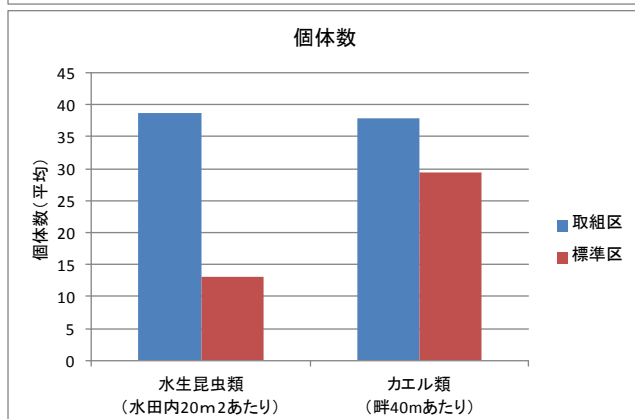
## 取組区と標準区の比較

調査地点数:51地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	3.5	2.4	38.6	13.0	0.91	0.75
カエル類(畔40mあたり)	1.5	1.4	37.9	29.4	0.23	0.22

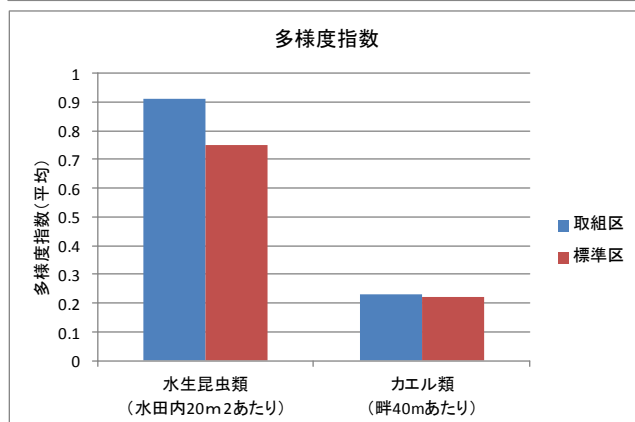
※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田



調査中に確認されたカエル類



冬期湛水の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類とカエル類の種類数及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。